

平成21年1月5日

<年頭のあいさつ要旨>

横浜信用金庫 理事長 斎藤 寿臣

(1) 新年おめでとうございます。

昨年の経済をふり返ってみますと、アメリカから始まった国際金融情勢の激動が日本にも大きな影響を与えた一年でした。影響の第一として金融機関の保有している証券等の直接的な損失です。第二は不動産市場に与える影響です。第三は国内株式の値下がりです。

しかしもっと大きな問題があります。海外での金融危機が実体の経済不振に結びつくと大変です。企業の生産調整が雇用の減少、消費者の収入の減少による買い控えを引き起こすことが懸念されます。

(2) このような状況を考えると、今年の経済はあまり楽観はできませんが、この新年にあたって、次の三点をお願いしたいと思います。

第一は年金受取口座の獲得です。団塊の世代が大勢住んでいらっしゃる当地域では、年金を受け取られる方が年々増加しています。受取口座を当金庫に指定していただくことが最も重要です。

第二は融資の増強です。昨年11月から始まった全国緊急の保証付融資に対する金融機関の間の競争は極めて激しかったのですが、長年中小企業のお役に立ってきた当金庫の特性を活かして成果を収めました。これからもこの保証付融資の活用を進めてください。またこれだけでなく企業や家計の資金需要の発掘に努める必要があります。

第三はペイオフ問題です。これも海外の影響です。最近海外での金融機関の預金の安全性が議論されるなかで、大口預金者であるお客様のペイオフへの関心が高まっています。当金庫の高い自己資本比率、不良債権比率の低さ等のデータはすべてディスクロージャー誌やホームページで開示しており、当金庫の健全性は極めて明らかなです。あらゆる機会に当金庫の安全性のPRに努めてください。

(3) 金融機関にとっても厳しい時期ですが、地域の皆様から信頼される金融機関であり続けたいと思っています。全員で横信の信用をゆるぎないものにしましょう。今年が皆様にとって良い年であることをお祈りして新年の挨拶といたします。

たしかな明日のお手伝い



横浜信用金庫

神奈川・東京に60店舗